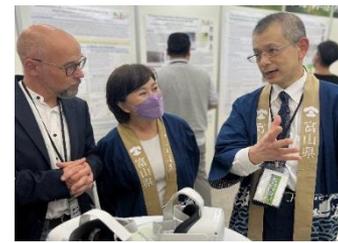


立山砂防の世界文化遺産登録にむけた最近の主な取組（令和5年度）

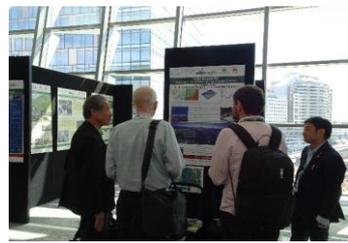
取組の三本柱

① 顕著な普遍的価値のPR、国際的評価の普及・浸透

- ・ 国際防災学会インタープリメントでの発表
（次回インタープリメント2024への論文投稿）
- ・ イコモス総会でのPR 等



インタープリメント2023
（4月、台湾）



イコモス総会
（9月、オーストラリア）

② 世界遺産登録に向けた県民意識の醸成

- ・ 土砂災害防止「全国の集い」 in 富山の開催
- ・ 立山砂防国際シンポジウムの開催
- ・ 人材育成プロジェクトユースプログラムの開催
（対象：小学生～大学生）等



「全国の集い」 in 富山
（6月、約800名参加）



国際シンポジウム
（10月、約500名参加）



富山県防災危機管理
センター1階の展示（R4.10～）

富山県アバター職員による
紹介動画

<https://www.youtube.com/watch?v=tCqoYTVBOCo>

③ 重要文化財の魅力発信

- ・ 立山カルデラ砂防博物館の運営、PR活動
（博物館来館者数 年間約25,000人）
- ・ 立山カルデラ砂防体験学習会
（博物館が国土交通省立山砂防事務所の協力を得て開催）
- ・ 常願寺川砂防施設の保存活用計画の検討
（立山砂防事務所の検討委員会に委員として参画） 等



富山県アバター職員の
「立山のぞ夢」
「越野ちゆり」
による博物館PR動画

<https://www.youtube.com/watch?v=QHQyOsoS28g>



体験学習会
（約500名が参加）